

こども・若者施策の取り組み状況について

令和7年10月報告

p2_小学生オンライン交流会報告

p8_こども・若者が参加しやすい市政の推進に向けた取組

p9_中高生・若者が集う居場所づくり事業

p10_小学校における朝の見守り事業

小学生オンライン交流会 報告書

1 目的

青梅市の将来を担うこどもたちが、それぞれのテーマについて他校との意見交換・交流を通じて、市政運営に対し、興味・関心をもってもらうとともに、こどもたちの声を市政運営に反映させることを目的として開催する。

2 日時

令和7年7月23日（水）

午前9時30分から午前11時30分まで

3 会場

各学校間と市役所で実施（オンライン開催）

4 参加児童

小学校16校（東小学校除く） 68名

5 実施概要

(1) 当日スケジュール

第一部

9:30	開会	2分
9:32	説明・注意事項	3分
9:35	グループごとに意見交換	40分
10:15	休憩	10分
10:25	発表（各グループ3分以内）	25分
10:50	市長・教育長講評	8分
10:58	閉会	2分

第二部

11:05～11:20	交流会（感想・意見交換）	15分
11:20～11:30	市長への質問タイム	10分

(2) 当日の役割分担

全体司会…成木小学校

開会挨拶…霞台小学校

閉会挨拶…若草小学校

グループリーダー・発表…「6テーマ」の網掛けの学校

(3) 実施方法

オンラインによる交流とし、「6テーマ」のグループのルームに分かれ、事前に各校で話し合ってきたワークシートをもとに意見交換を行った。グループで話し合ったことを全体ルームで発表した。

6 テーマ

テーマ		小学校
「みんなが通いやすい、より良い学校にするためには」	グループ A	第二小、新町小、友田小、吹上小
	グループ B	第三小、第四小、霞台小、藤橋小
	グループ C	第一小、第五小、成木小、若草小
	グループ D	第六小、第七小、河辺小、今井小
「こどもたちみんなが幸せなまちについて」	グループ E	第一小、第三小、河辺小、友田小
	グループ F	第六小、霞台小、若草小、吹上小
	グループ G	第二小、第四小、成木小、今井小
	グループ H	第五小、第七小、新町小、藤橋小

7 発表内容

(1) 「みんなが通いやすい、より良い学校にするためには」

グループ A

挨拶運動に力を入れようという意見が出ました。毎朝、明るい挨拶からスタートすることで、学校全体が明るくなり、みんなが楽しく通える学校になると思うからです。それぞれの学校で行っている挨拶運動を青梅市全体に広げていけるように、青梅挨拶運動週間をつくってもよいと思いました。

グループ B

いじめがなくなり笑顔があふれて健康な学校になるといいと思いました。そのためには、丁寧な言葉づかいでみんなの意見を否定しないことがよいと思います。ほかにも手洗いを欠かさずに、なるべく給食を残さず食べることが大切だと思

いました。

グループC

他の学校と交流の場を市に作ってもらうことで、思いやりやハッピーになれるという意見が出ました。

また、手を挙げなくても意見が言える授業（になるといいという意見）では、低学年はパソコンなどを使って（意見を言う）、高学年については大人になった時に手を挙げる力も大切だという意見も出たので、高学年の人たちは手を挙げて意見を言うなど（意見がありました）。

パソコンを使うときに不具合が起こると授業の妨げになるので、今のクロームブックだとときどき不具合が起こるので他のものに変えるよう検討してほしいです。

また、登校に時間がかかる児童がいるので自転車通学などを検討してもらいたいです。

付箋を使って、されて良かった事を貼ったり、いじめゼロスローガンをつくることでいじめがなくなったり仲を深めることができます。市に頼らなくてもできるので良いと思います。このような意見が出ました。

グループD

安全のためや学習に集中するために、施設や学習用具を良くしていく、みんなが仲良くするためにもっと全校遊びやクラス遊びをする、色々な学校や学年が集まる場所を作る、市のホームページに載せていく、植物や動物など自然を大切にす、笑顔で挨拶をする、人の気持ちを考える、安全パトロールをするなどほかにもたくさん意見が出ました。他の学校の考えを聞いて賛成意見や質問などが出ました。

時間が余ったのもう一つのテーマについても意見を交換しました。

主な意見は、1つ目は、図書室で静かで安心できる場所を増やす。2つ目は、家の近くの山など自然の音に癒される。3つ目は家が一番安心できる、好きなものに囲まれている、家族や友達が大切。4つ目は、公園、プール、体育館、市民

センター等の施設を増やしてほしいという意見が出ました。

なぜかというところ、みんな誰でも気軽に遊べて色々な人と仲が深められると思ったからです。

(2) 「こどもたちみんなが幸せなまちについて」

グループE

静かで安心できる場所と遊具やベンチのある広い公園があるとよいという結果になりました。発言も多くハキハキ発表していたのでとても聞き取りやすかったです。とても良い話し合いになったと思います。

グループF

安心できる場所について話し合いました。最近、悪い人や事件が起きるニュースを見ることが多いので公園や神社などに防犯カメラをつけ、図書館や学童、こどものいる場所に入退館システムをつけると安心して利用できるという意見にまとまりました。

次に、図書館について、設置してほしいという意見ともう十分という意見が出ました。この中で、本を取り寄せたり、購入することも可能という意見から、優先度が低いと考えました。

居場所としてこどもたちが運動できて交流できる場所が必要という意見が多く出ました。設置場所としては、交通公園の跡地や日向和田に設置するなどの意見が出ました。

これらの意見からこどもたちが安全に遊んだり交流できる場所があるといいと考えました。

グループG

友達といるとき、友達と話をしている時が一番安心できるという意見が多くありました。そう思った理由は、自分の最大の味方は、友達や家族なので一緒にいると一番安心するという意見が多くありました。こどもたちが色々な人たちと関わり合えるところや相談できる場所があるといいと思いました。

グループH

意見がたくさん出ましたが、主な賛成の意見は、図書館や誰でも入れる体育館、大人もいる自然のある公園、駄菓子屋さんがあるという意見が出ました。なぜ大人が必要かというのは事件や事故、こどもでは解決しきれないことが起こった場合、大人が必要だからです。

8 学校アンケート

(1) アンケート回収状況

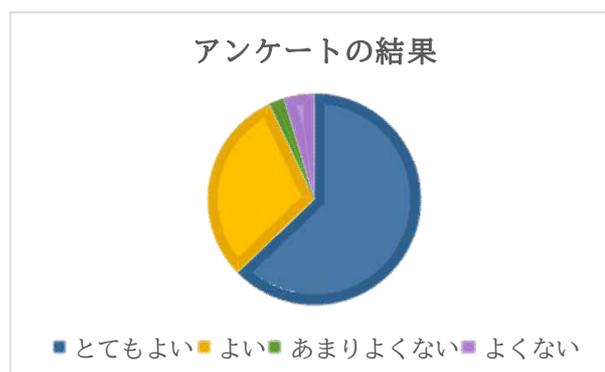
【全体】 43名

とてもよい… 27名

よい… 13名

あまりよくない… 1名

よくない… 2名



(2) 「小学生オンライン交流会」全体をとおしての御意見や御感想（自由記述）

ア 児童

- ・みんなからでた意見が実現されればいいと思います。
- ・中学生になってもやりたいと思いました。オンラインも良いのですが、直接みんなで大きな会場に集まってやりたいと思いました。
- ・すごく貴重な体験になりました。
- ・いろいろな学校の子達と交流できて楽しかったからです。
- ・色々な学校の人と話せて楽しかったから。
- ・いろいろな意見が出て、青梅がより良くなりそうだと思うから。
- ・他の学校の人たちも積極的に意見を発表していたためとても考えたりして思い出に残る体験になった。
- ・みんなの意見があって自分の視野が広がりました。
- ・コミュニケーション力が上がったから。
- ・自分たちでは思いつかなかった「より良い学校にしていくためには」案を聞くことができ良かった。
- ・自分にはない考えを見つけることができたから。

- ・司会をやってみて緊張したけど他の学校の方がいろんな意見を出していたので進めやすかった。

イ 学校関係者

- ・子供にとって、とてもよい経験になりました。ありがとうございました。
- ・児童が積極的に発言する姿が見ることができて、大変うれしく思った。

教職員の手をほとんど借りずに、その場で臨機応変に質疑応答や自身の意見を伝えることができていたのが良いと思う。

- ・オンライン交流会のように、市内の小学校が交流できる機会を今後も増やしてほしい。また、コロナ禍もほぼ終息に向かっているため、オンラインではなく対面での開催もよいのではないかと考える。
- ・テーマが子供たちに身近であり、自分でよりよい学校や青梅市をつくろうとする気持ちを高めることができたため。
- ・今後も続けるのであれば、後半に取り組んだ各学校同士の交流を、例えば学校紹介にしたり互いに気になることについて質問し合ったりするなど、各校の交流ができるといいのではないのでしょうか。また、市長と交流する機会もあまりないので、そのような場にするといいのではないのでしょうか。
- ・これまでのオンライン交流会によって「市政運営」にどう生かされていたのか、今回もその役に立つものだったのか不明だから。
- ・今回で3回目の参加になりますが、以前より話し合うテーマが子供にとって身近になり、考えやすいものになっていると感じました。ただ、その話し合いの内容がどのように生かされているのかが見えない（ホームページなどにあっただらすみません）ので、見えるようにしていただけるとありがたいです。ありがとうございました。

こども・若者が参加しやすい市政の推進に向けた取組について

多くの市民に市政に対する興味・関心をもってもらうとともに、市民等の意見をまちづくりに生かすため、令和7年度は以下の事業により、市民と理事者との意見交換や提案機会の充実に取り組みます。

名 称	日 程	時 間	会 場	参加人数
小学生オンライン交流会	7月23日(水)	午前9時30分 ～午前11時30分	青梅市役所および各小学校	68人
多摩リハビリテーション学院との 意見交換会	10月17日(金)	午後4時～午後5時	青梅市役所市長室	4人(予定)
みんなで語る青梅市の未来 ～まちづくりワールドカフェ～ (市民と市長との懇談会)	11月10日(月)	午後6時～午後8時	青梅市役所7階食堂	30人(予定)
青梅看護専門学校との意見交換会	12月1日(月)	午後3時45分 ～午後4時45分	市立青梅総合医療センター (予定)	10人(予定)
高校生ミーティング	12月16日(火)	午後3時～午後5時	青梅市役所2階喫茶コーナー (予定)	20人(予定)
中学生オンライン交流会	12月22日(月)	午後3時30分 ～午後4時30分	青梅市役所および各中学校	40人(予定)
大学生ミーティング	令和8年2月	※調整中	青梅市役所2階喫茶コーナー (予定)	20人(予定)
協定締結事業者ワークショップ	令和8年2月	※調整中	青梅市役所	※調整中

中高生・若者が集う居場所づくり事業

経緯

○R6.12.16に開催した青梅総合高校と市長・教育長との意見交換会において、高校生から「勉強場所が少ない」、「遅くまで使える場所がない。」、「教え合いの場がない。」との意見があった。

○令和7年度開始の「青梅市こども計画」において、重点事業では「こどもの意見聴取・意見表明機会の充実」として、こども会議・若者会議の設置などに取り組むこととしている。また、計画内のチャレンジ事業において、「こども・中高生の居場所づくり」、「若者が気軽に利用できる居場所の整備」を設定している。

事業目的

○中高生・若者が利用できる居場所を創設する。
⇒こどもたちの意見を反映

○意見の表明や協議をする空間として醸成を図る。
⇒こども会議・若者会議の核となるこどもたちを期待

こども計画の基本方針「こどもがまんなかのまちづくり」に則し、こどもの声を市政に反映させると同時に、将来を担う大人への成長を促す機会とする。

事業内容（検討中）

- 市役所2階行政コーナー、喫茶コーナーを改修し、平日夜間および土日昼間に、中高生・若者が集う居場所を整備する。
- 個人勉強、語らい・交流、共同作業など、自由に利用できる。
- 悩みを相談できるチャットサイトのQRコードを卓上配布する。

小学校における朝の見守り事業

1 事業目的

共働き世帯が増加している中、保護者が朝早く出勤する際に、学校における児童の居場所を確保することを目的とする。

2 事業内容

見守り員を配置し、児童を学校敷地内で受け入れ、校庭で思い思いに始業時間までを過ごせるようにする。

3 実施校

青梅市立霞台小学校

※令和7年度は試行として1校で実施

※霞台小学校での事業を検証しつつ、次年度以降、各校の個別の事情等も考慮しながら、事業の拡大を検討

4 開始時期

令和7年10月中の開始を予定

5 見守り時間

平日の午前7時30分から午前8時15分まで

(見守り員配置時間は平日の午前7時15分から午前8時45分まで)

6 その他

(1) 見守り員は2名の配置とし、シルバー人材センターに委託

(2) 荒天時は東側校舎1階部分のピロティールにおいて実施

(3) 実施に際し、東京都の令和7年度朝の子供の居場所づくり事業費補助金を活用